

季刊文科100号記念

対談 創刊の初志、そして現在の役割り

松本徹×勝又浩 6

小池昌代 雲雀の声 24

関根謙 『季刊文科』と『三田文學』 27

藤沢周 M氏の予言 30

吉村萬壺 本当は怖い「季刊文科」 33

五十嵐勉 「季刊文科」一〇〇号に寄せて 36

大鐘稔彦 「季刊文科」との邂逅―100号記念号に寄せて 38

増田みず子 お祝いと感謝の言葉 40

司修 『井伏家のうどん』について 42

村上政彦 孤壘 46

難波田節子 「季刊文科」への感謝 49

伊藤氏貴 雑誌の寿命について 52

中沢けい 時を区切る 54

佐藤洋二郎 「接ぎ木」の編集委員 57

文科 「猫と庄造と二人のをんな」のこと 平尾隆弘 60

本屋の才覚 香田芳樹 62

紙の手ざわりサラサラと 湯川豊 64

洋画家・須田寿の回顧展から学んだこと 清水久夫 66

あばら家に光が―『金瓶梅』訳了の記 田中智行 68

伊勢神宮再訪 富岡幸一郎 73

創作 くすくすり〈7〉 大道珠貴 86

昭和恋愛短編集②

「愛染明王」の女 佐藤洋二郎 95

ハンスと二人のエルンスト 宮内俊至 106

菅田将暉はテレビの中 池上洋平 118

追悼 徳岡孝夫 徳岡さんのこと 角地幸男 76

亡きキーンさんに和して現在形で…… 松本徹 79

徳岡孝夫との老いたる日々 土井莊平 82

同人雑誌季評

風景に込める風景が語る 越田秀男(新担当) 194

名前があらわすもの 谷村順一 202

新連載 言葉の中で音楽が鳴る〈1〉カフカ 許光俊 130

最終回 氾濫する『豊饒の海』 松本徹 209

——三島由紀夫 最後の五年間⑤

私を魅了した銀幕のスターたち (洋画篇) <2>
連載 ジェームス・デイーン / グレゴリー・ペック 大鐘稔彦 137

海の詩学——三島由紀夫 <17>

遺されたひとつの憧憬——『赤繪』創刊号掲載作品 鈴木ふさ子 147

「花ざかりの森の序とその二」・詩「馬」・短編「芋菟と瑪耶」から

学界への窓 27

偶感断章 馬渡憲三郎 179

文藝季評 50

芥川賞二作 伊藤氏貴 184

砦

勝又浩 32 松本徹 41

同人雑誌および本誌会員から

『人間にとつて』の発刊について 田中寛 188

今、同人誌を発行することの意義 市原信夫 190

一九七八 大阪中之島 雄高敬介 192

会員規約 240
今号の執筆者 241
編集後記 242

季刊文科 100

鳥影社